

第1回 土砂災害対策審議会

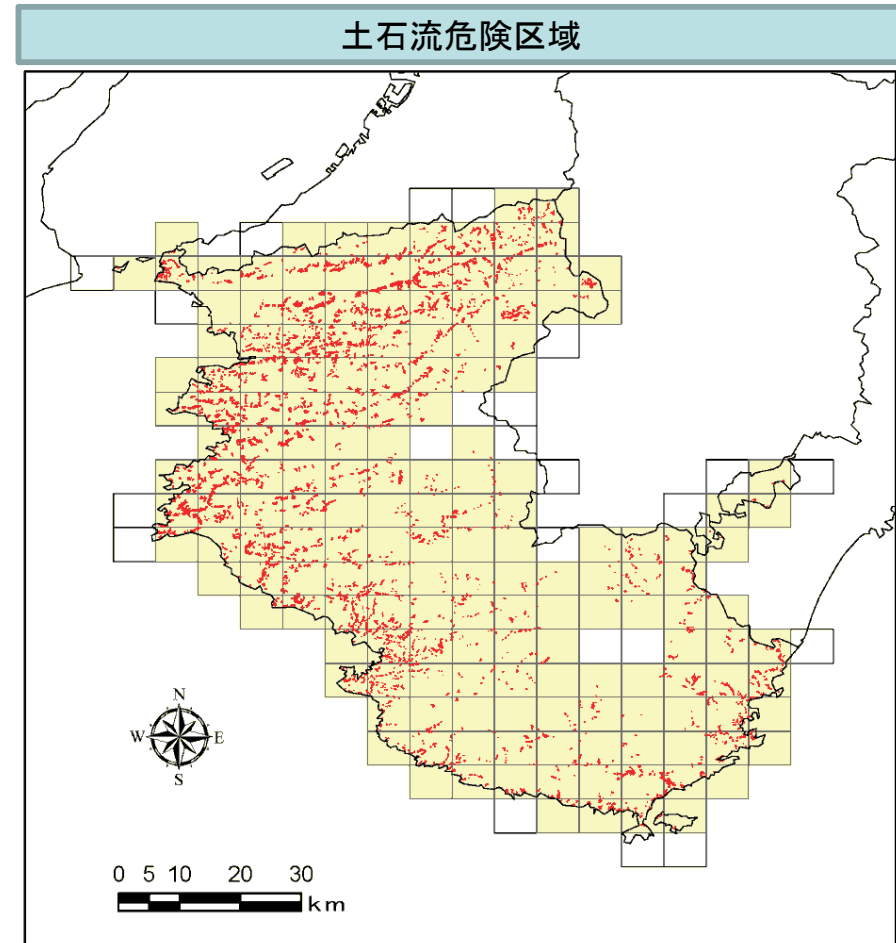
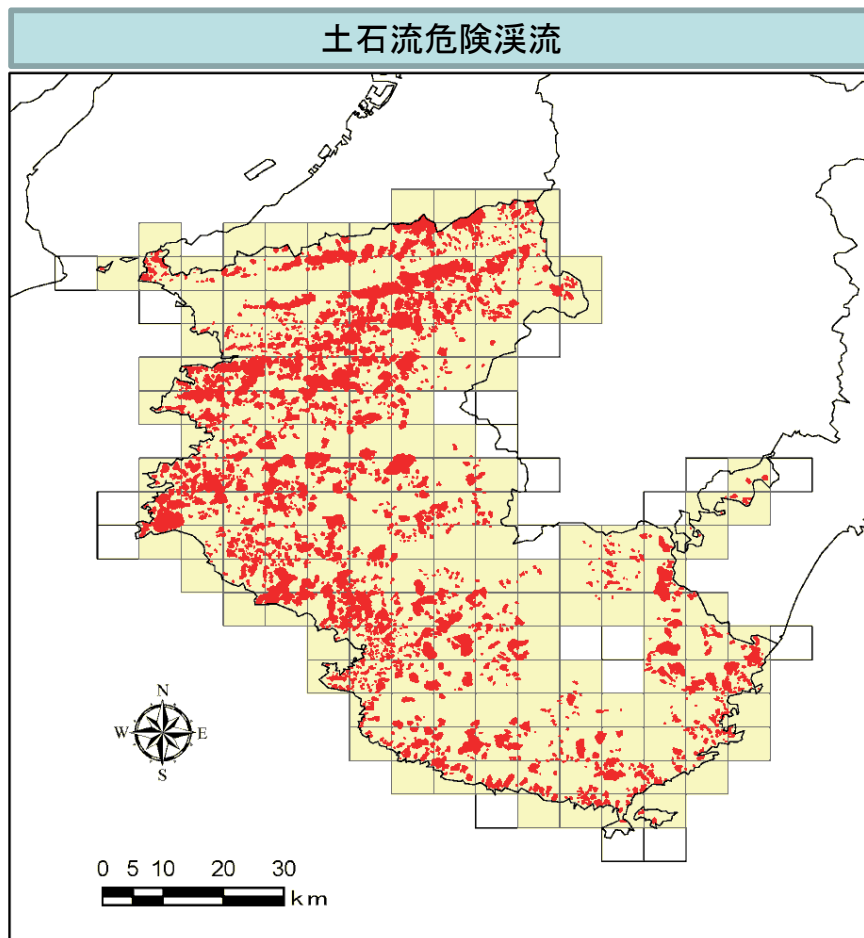
補足資料4 除外格子検討

平成26年10月30日
和歌山県

除外格子検討

(1) 土石流危険渓流・土石流危険区域

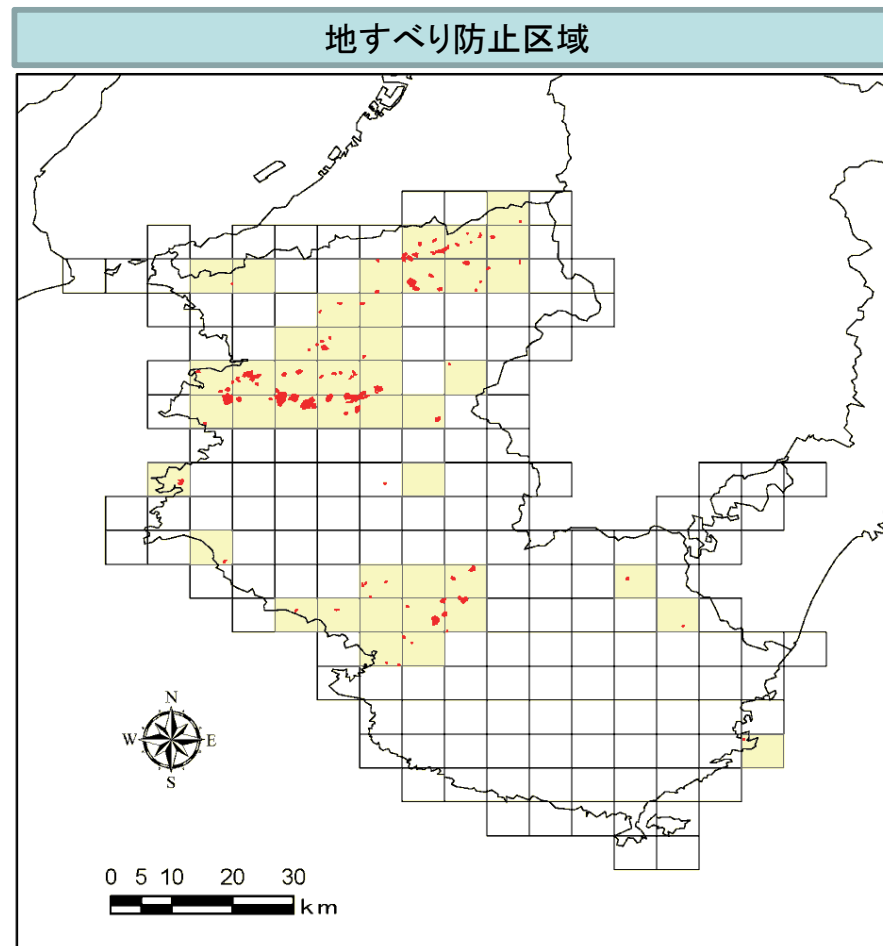
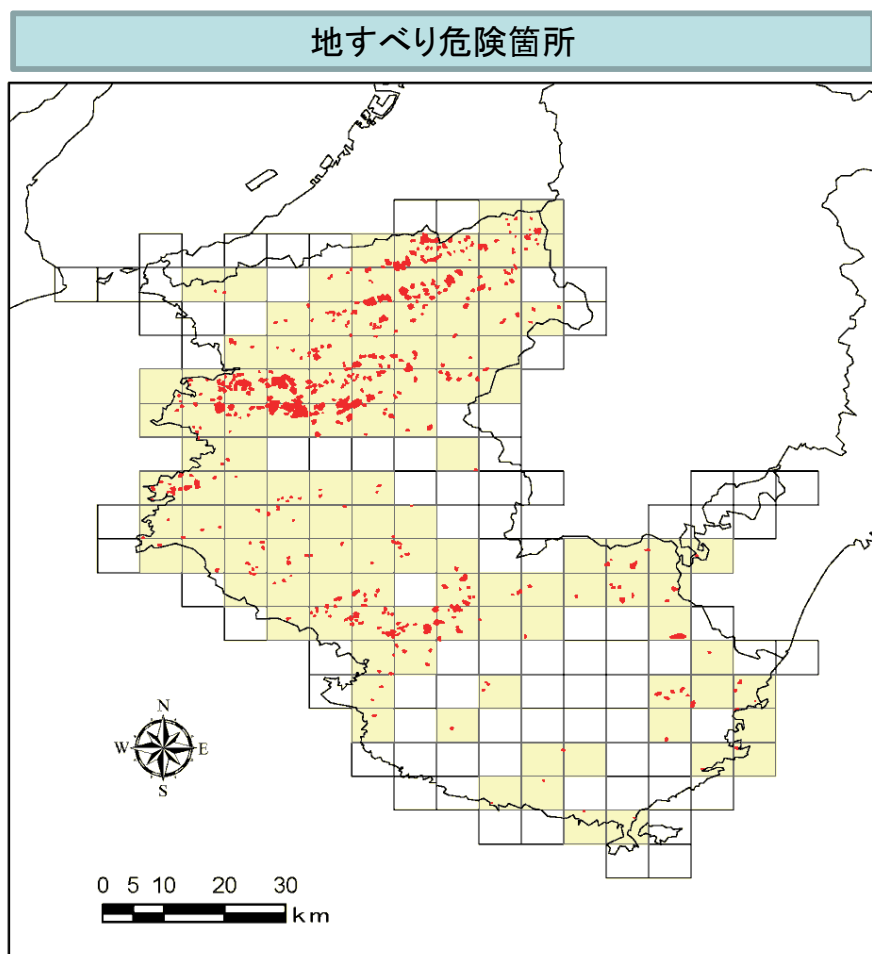
- 「土石流危険渓流」とは、渓流の勾配が15度以上で土石流発生の危険性があり、人家や公共施設に被害を生じるおそれのある渓流をいう。また、人家や公共施設がない場合でも、一定の要件を満たし、住宅等が新規に立地する可能性があると考えられる場所に流入する渓流も含む。
- 「土石流危険区域」とは、想定される最大規模の土石流が発生した場合、土砂のはん濫が予想される区域のことである。



除外格子検討

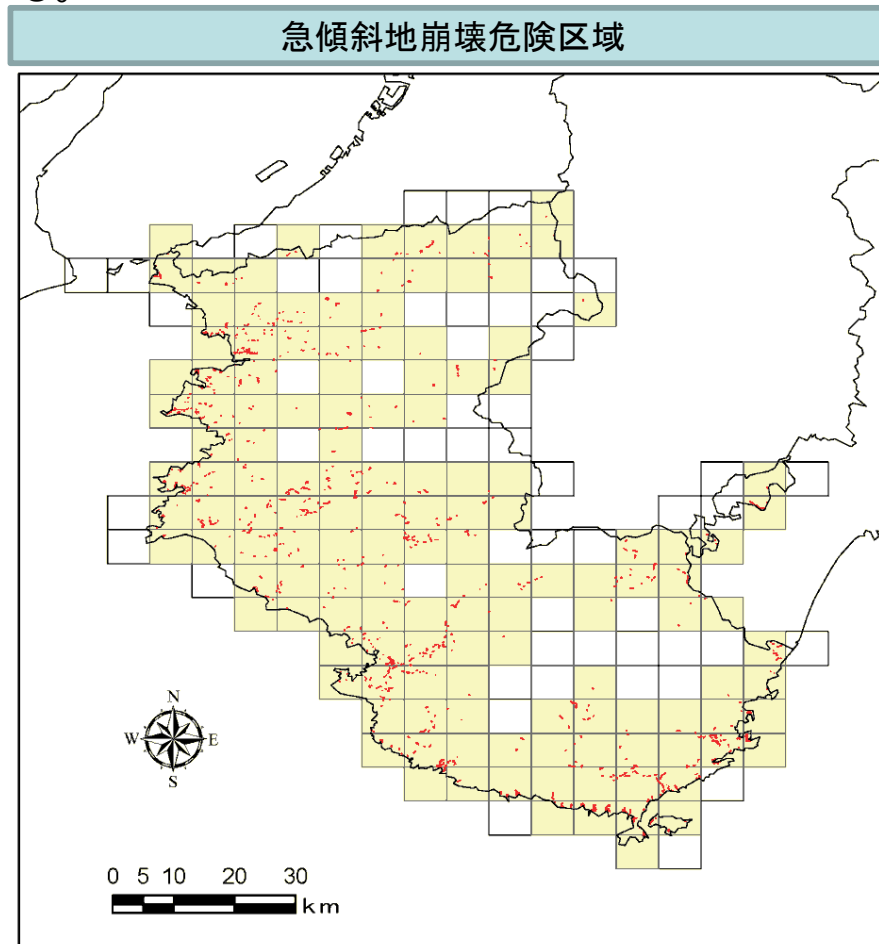
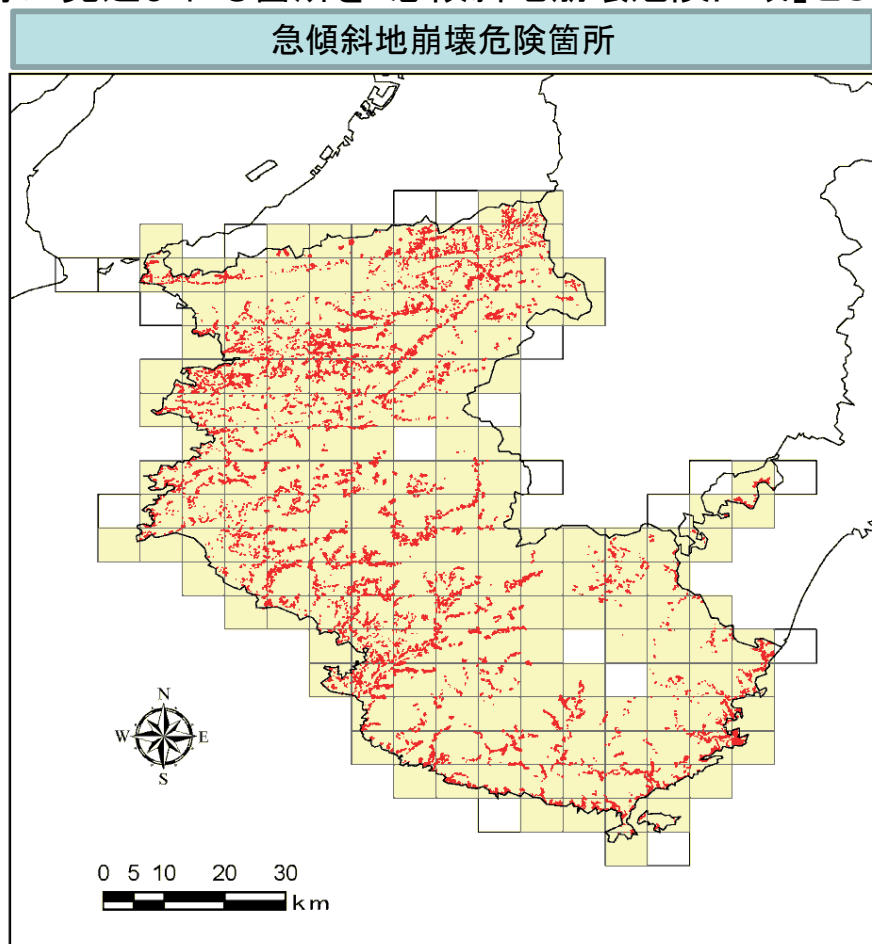
(2) 地すべり危険箇所・地すべり防止区域

- 「地すべり危険箇所」とは、空中写真判読や現地調査、災害の記録から地すべりの発生のおそれがあり、人家、河川、鉄道、道路、官公署等に大きな損害を与えるおそれのある箇所のことである。
- また、現に地すべりの兆候がみられる箇所や、地すべり防止の対策施設の設置とともに一定の開発行為等を制限する必要があるものを主務大臣(国土交通、農水)が指定した区域を「地すべり防止区域」という。



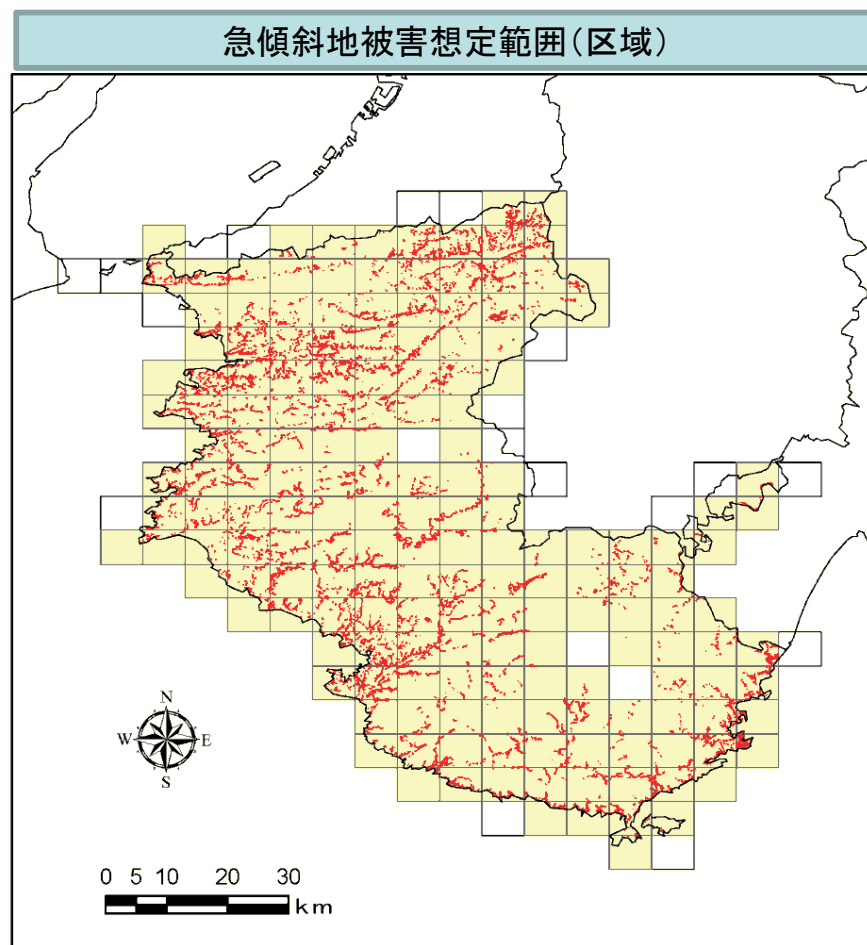
(3) 急傾斜地崩壊危険箇所・急傾斜地崩壊危険区域

- 「急傾斜地崩壊危険箇所」とは、崩壊するおそれのある急傾斜地で、高さが5メートル以上、傾斜度が30度以上で、崩壊により危害を生じるおそれのある箇所をいう。
- 急傾斜地崩壊危険箇所で、その斜面が崩れた場合に被害が出ると想定される区域内に、人家が1以上(人家がなくて官公署、学校、病院、駅、旅館等のある場合を含む)ある箇所、および人家はないが今後新規の住宅立地等上(人家がなくて官公署、学校、病院、駅、旅館等のある場合を含む)ある箇所、および人家はないが今後新規の住宅立地等が見込まれる箇所を「急傾斜地崩壊危険区域」としている。



(4) 急傾斜地被害想定範囲(区域)

- 勾配が30度以上で、かつ、高さが5メートル以上のがけは急傾斜地崩壊危険箇所といい、崩壊の危険性がある。
- 斜面の崩壊が発生するとがけの高さの2倍の距離まで土砂が到達する可能性があると考えられており、「被害想定区域」という。斜面上部ではがけ高と同じ距離が「被害想定区域」とされている。また、崩壊が起こると横方向におおむね30度の角度で拡散するとされている。



(5-1) 土砂災害警戒区域(土石流・地すべり・急傾斜地の崩壊)

- 土砂災害警戒区域」とは、土砂災害により危害のおそれのある土地の範囲で「土砂災害特別警戒区域」とは、土砂災害により著しい危害のおそれのある土地の範囲で、土砂災害から国民の生命と身体を保護するため、土砂災害防止法に基づき、知事が政令で定められる基準に該当するものを指定した区域をいう。なお、土砂災害防止法で対象とする「土砂災害」とは急傾斜地の崩壊、土石流、地すべりの3現象をいう。

土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)まとめ

■急傾斜地の崩壊

- 傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域
- 急傾斜地の上端から水平距離が10m以内の区域
- 急傾斜地の下端から急傾斜地高さの2倍(50mを超える場合は50m)以内の区域

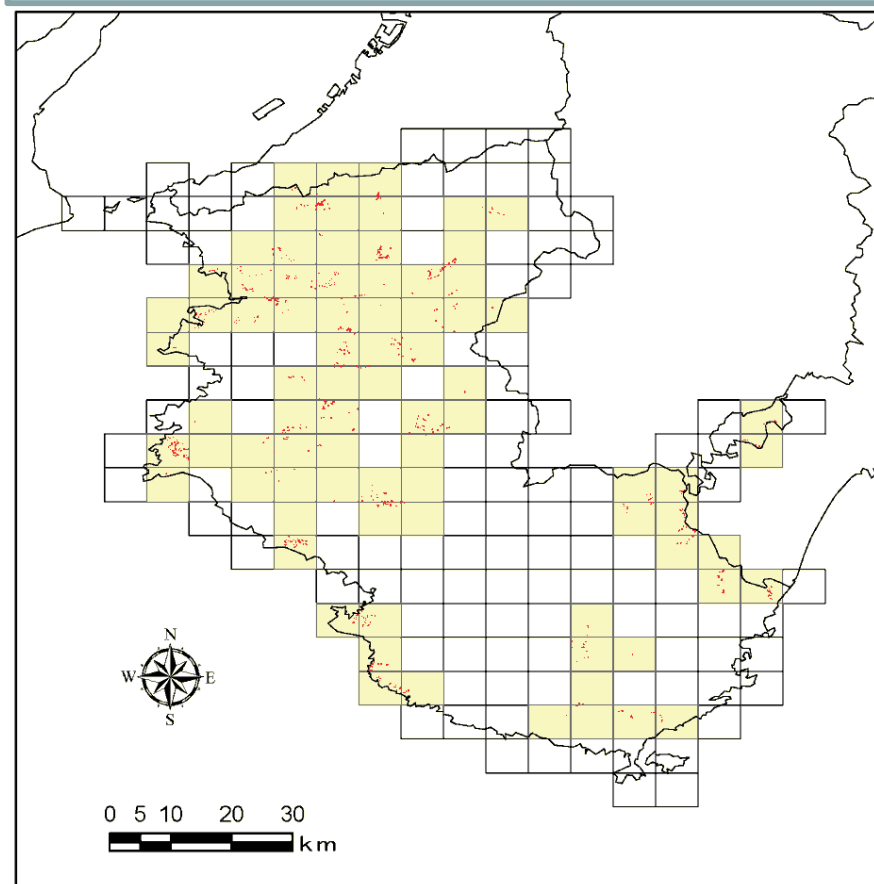
■土石流

- 土石流の発生のおそれのある溪流において、扇頂部から下流で勾配が2度以上の区域

■地すべり

- 地すべり区域(地すべりしている区域または地すべりするおそれのある区域)
- 地すべり区域下端から、地すべり地塊の長さに相当する距離(250mを超える場合は、250m)の範囲内の区域

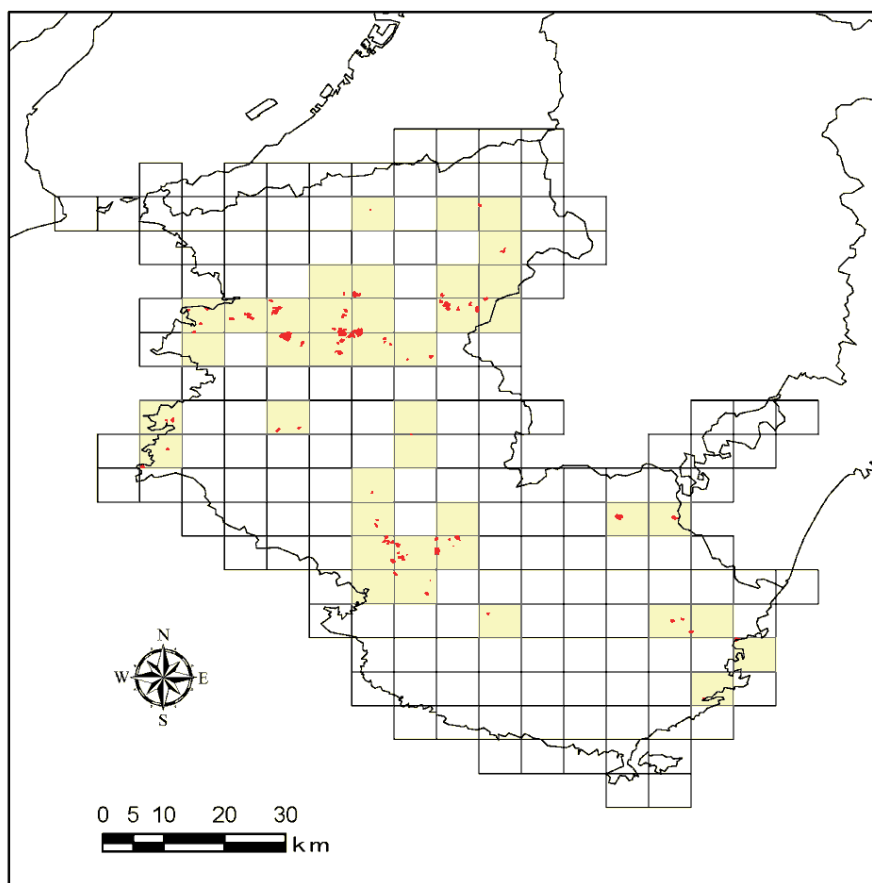
土砂災害警戒区域(土石流)



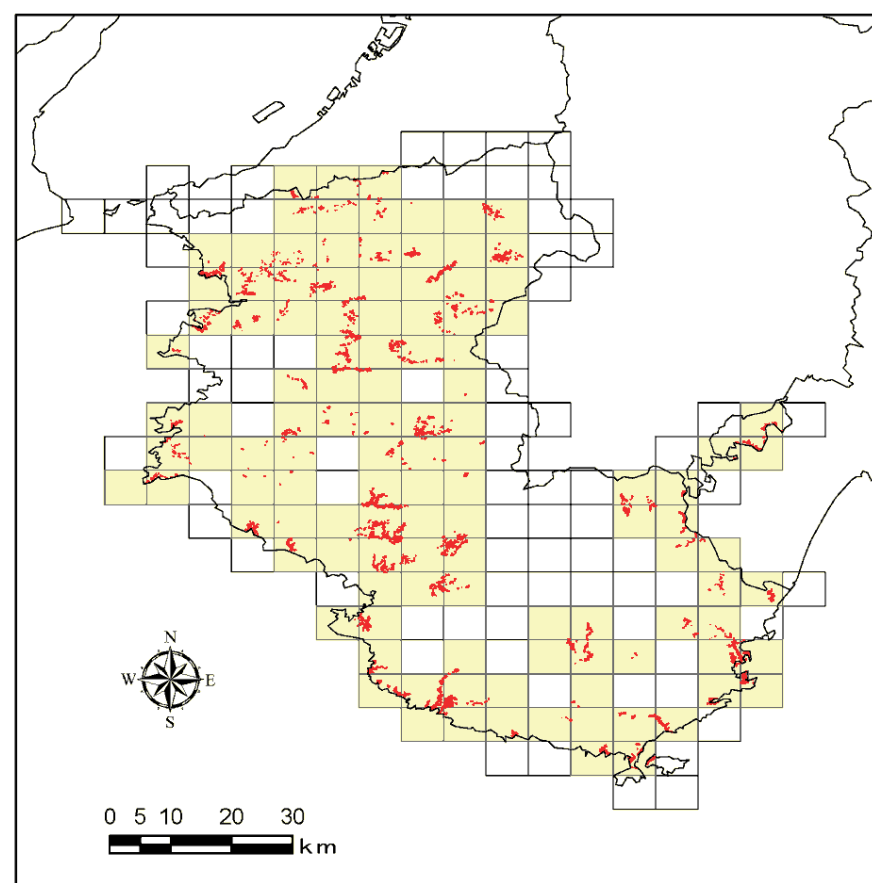
除外格子検討

(5-2) 土砂災害警戒区域(土石流・地すべり・急傾斜地の崩壊)

土砂災害警戒区域(地すべり)



土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)

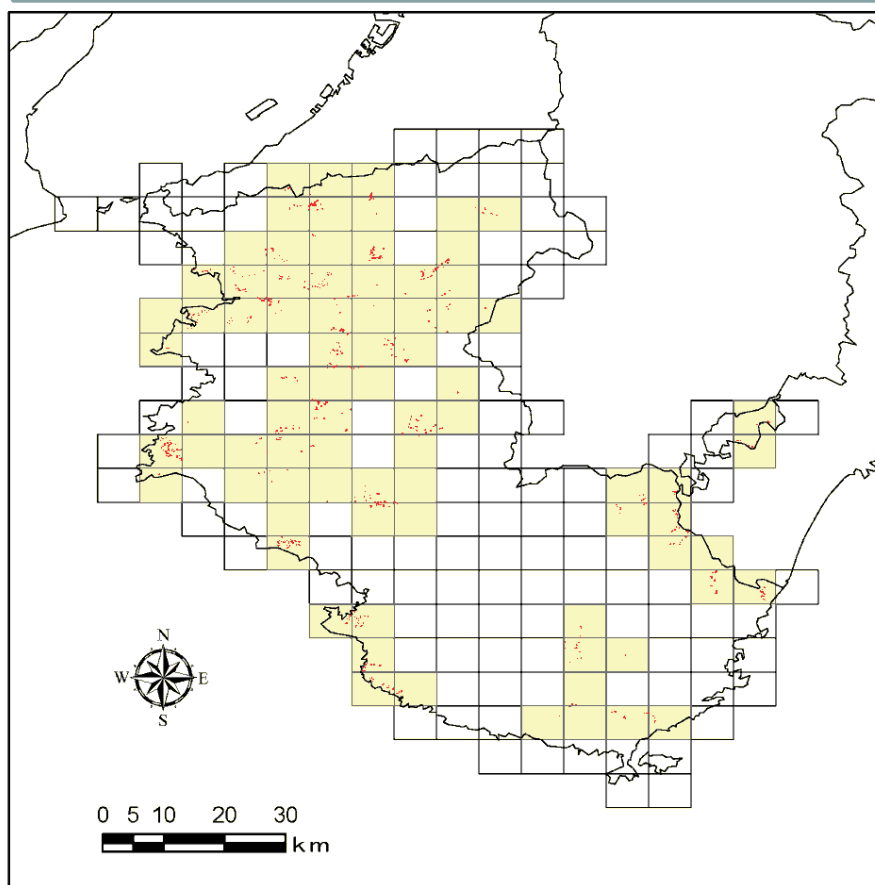


(6) 土砂災害特別警戒区域(土石流・急傾斜地の崩壊)

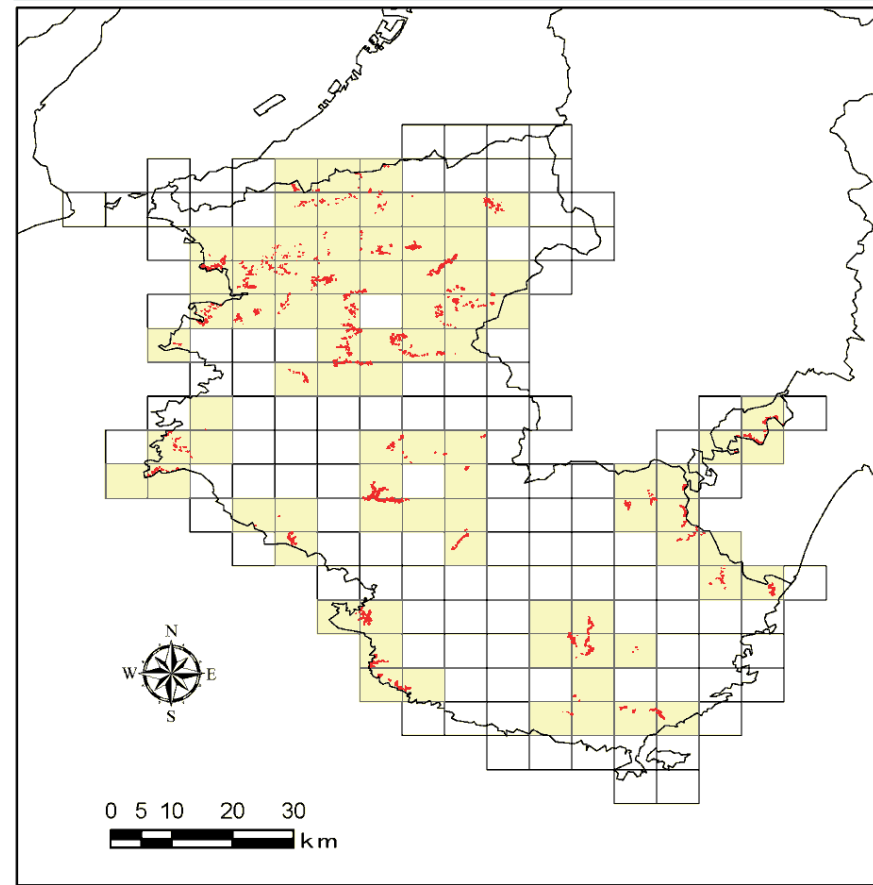
土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)まとめ

- 急傾斜の崩壊に伴う土石等の移動等により建築物に作用する力の大きさが、通常の建築物が土石等の移動に対して住民の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれのある崩壊を生ずることなく耐えることのできる力を上回る区域。
- ※ただし、地滑りについては、地滑り地塊の滑りに伴って生じた土石等により力が建築物に作用した時から30分間が経過した時において建築物に作用する力の大きさとし、地滑り区域の下端から最大で60m範囲内の区域。

土砂災害特別警戒区域(土石流)



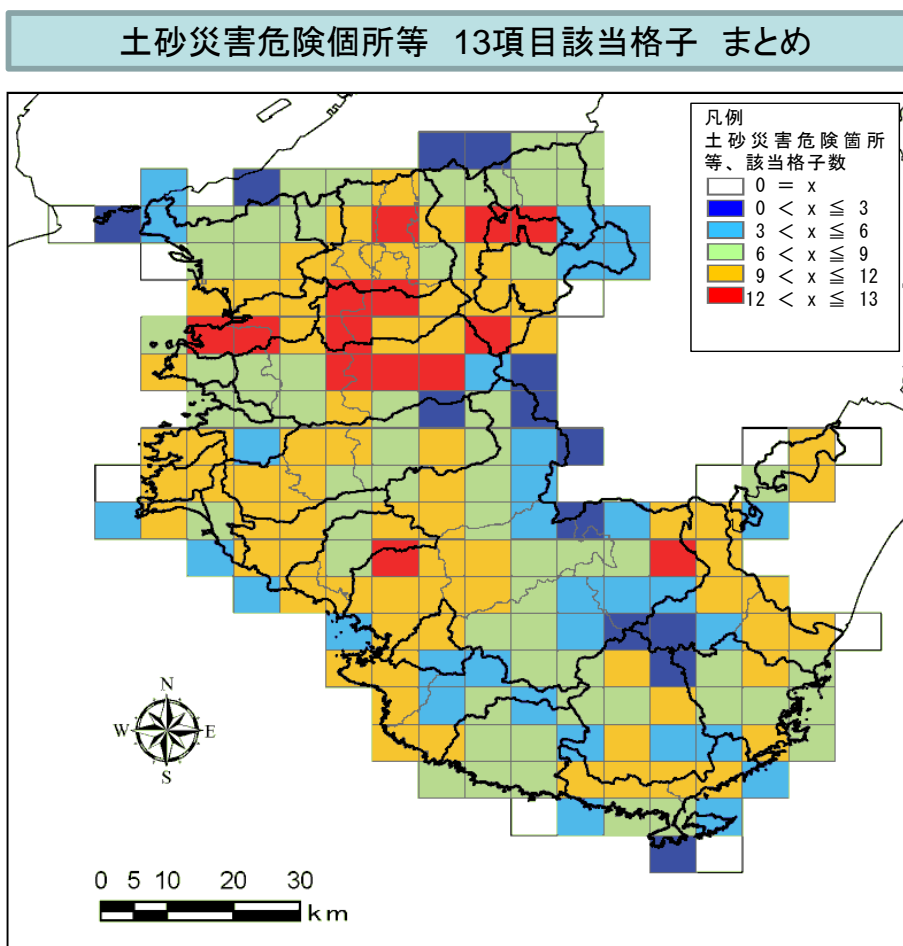
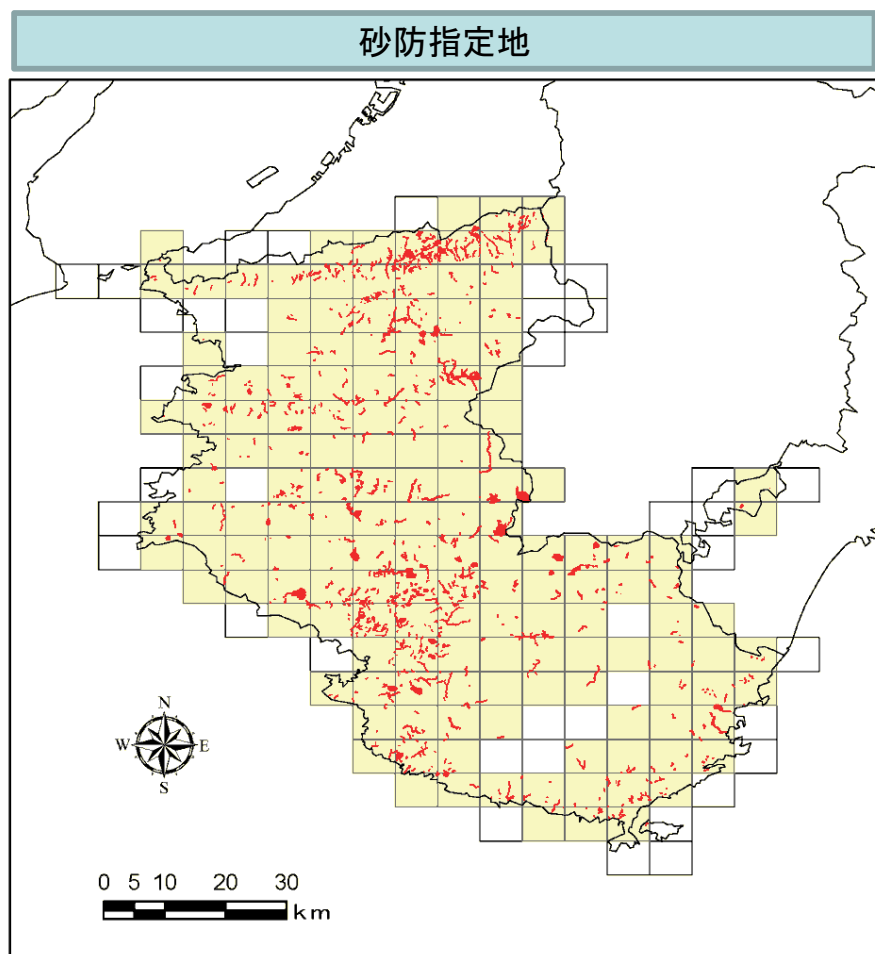
土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)



除外格子検討

(7) 砂防指定地

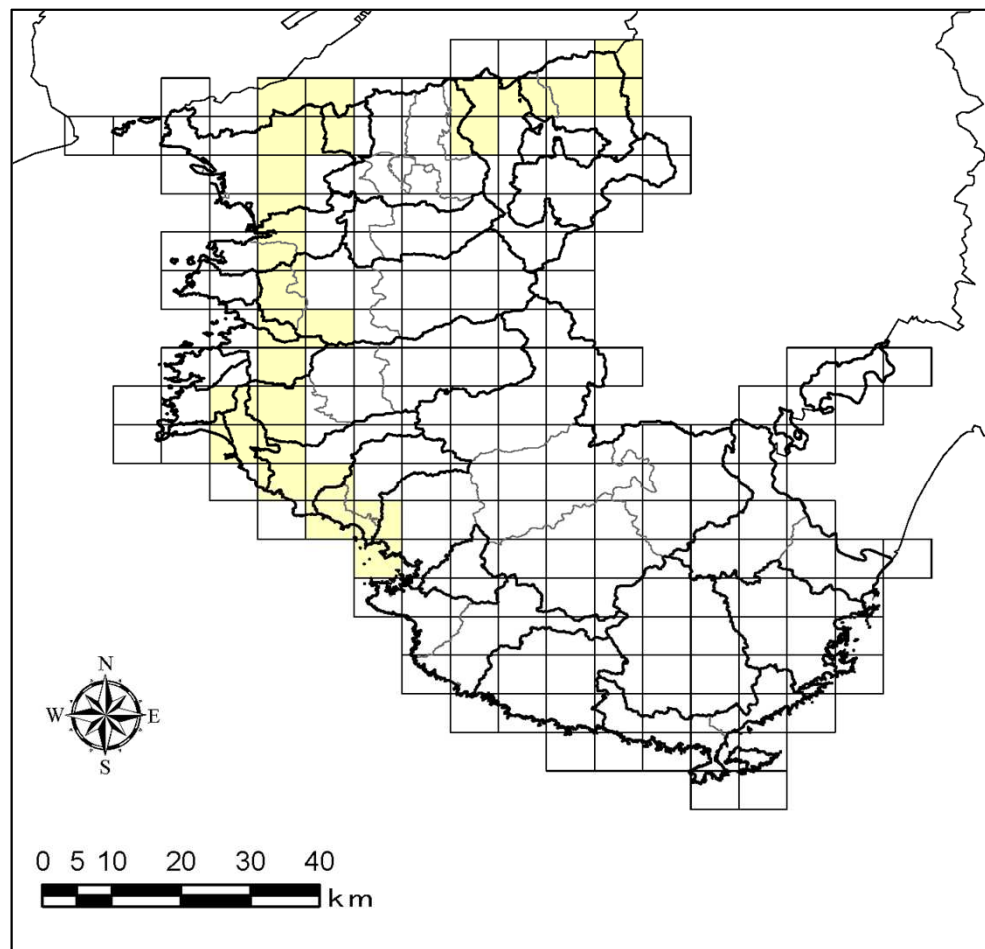
- 「砂防指定地」とは、大雨などで山の斜面の崩壊や溪流内の不安定な土砂が流出することによりおこる土砂災害を防止するために、砂防設備が必要な土地又は一定の行為の制限を行う土地を国土交通大臣が指定した土地のことである。
- この土地においては、土地の掘削、盛土、切土、土石の採取、竹木の伐採などの行為が制限される。



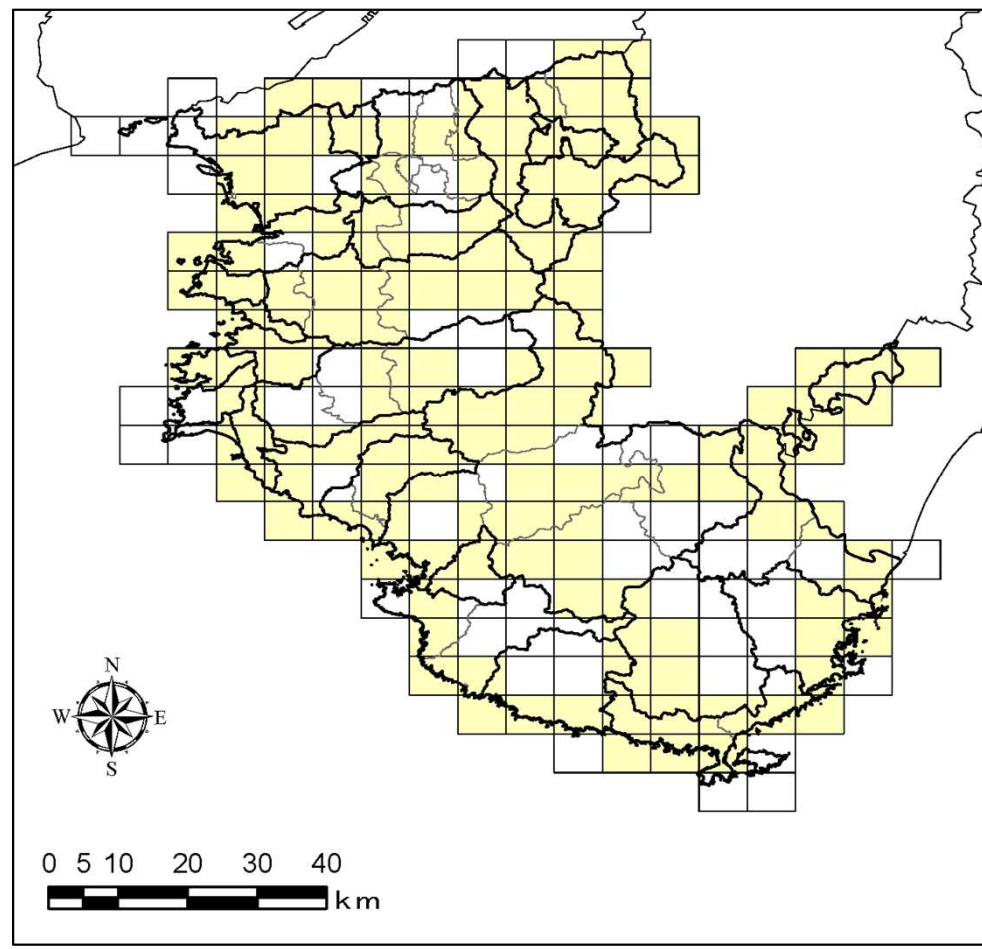
除外格子検討

(8-1) 交通網(高速道路、国道)

高速道路 該当格子



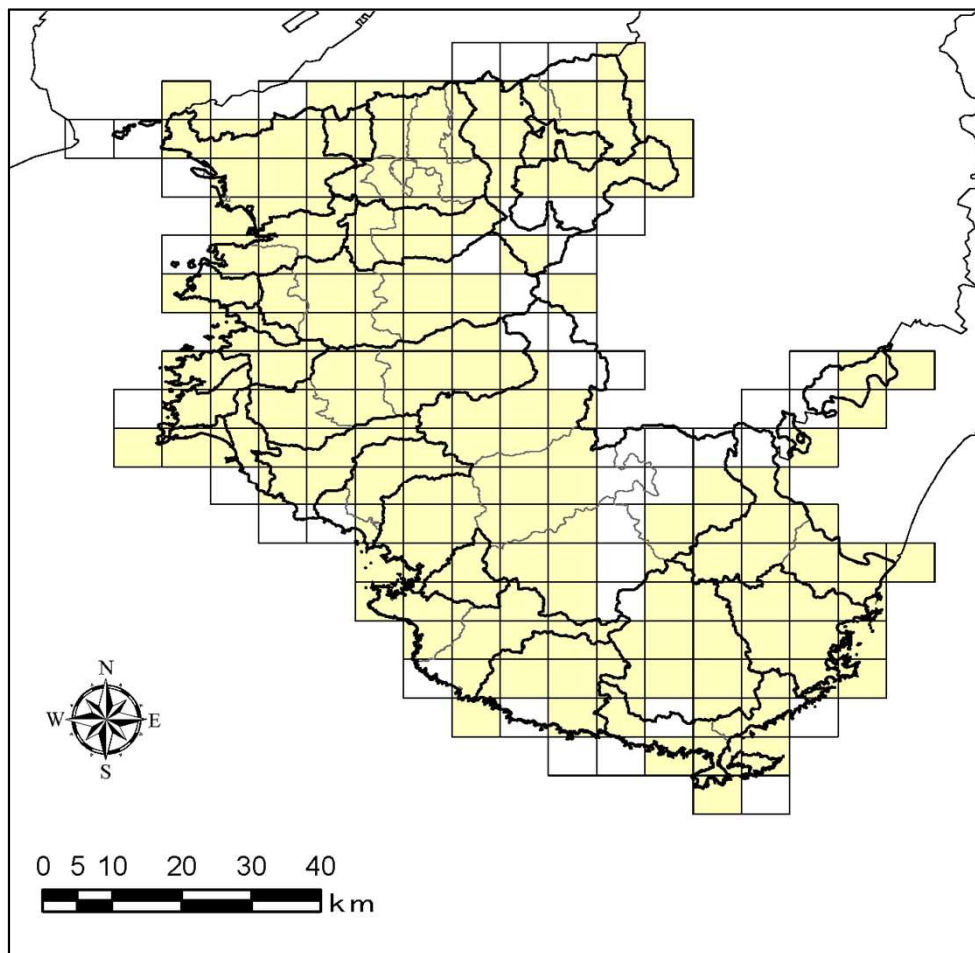
国道 該当格子



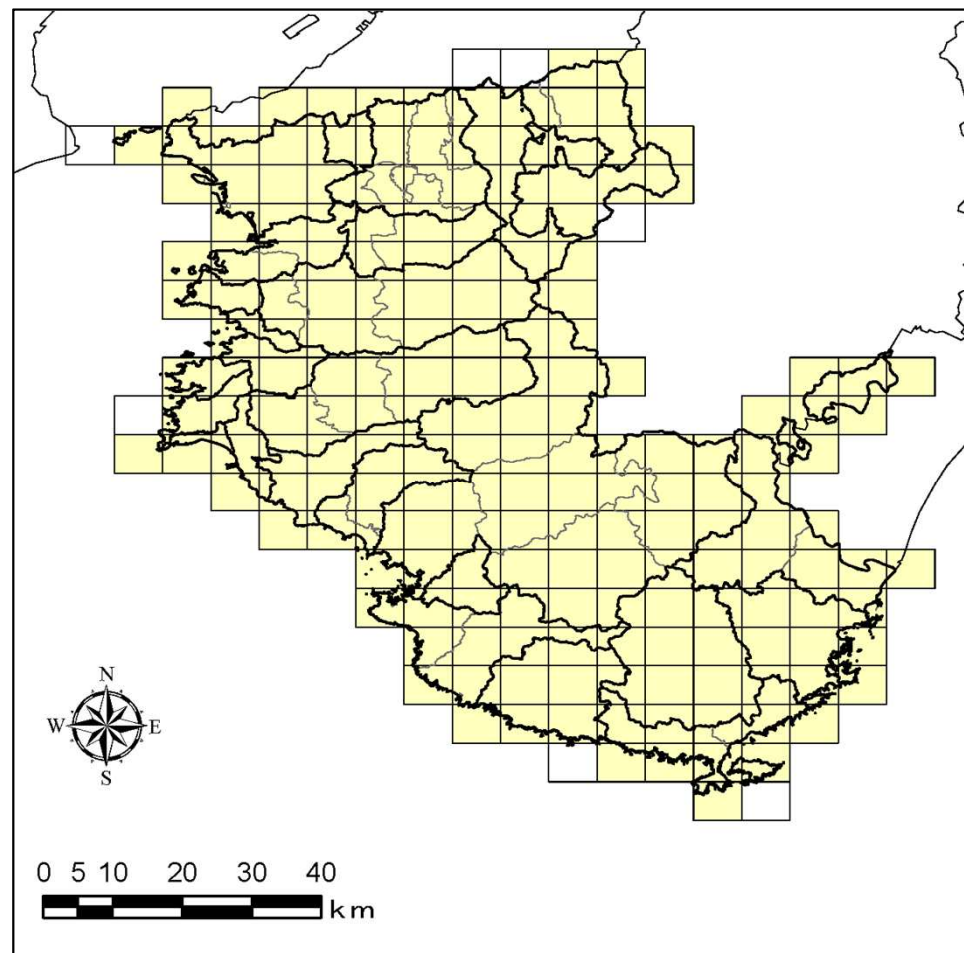
除外格子検討

(8-2) 交通網(県道、市町村道)

県道 該当格子



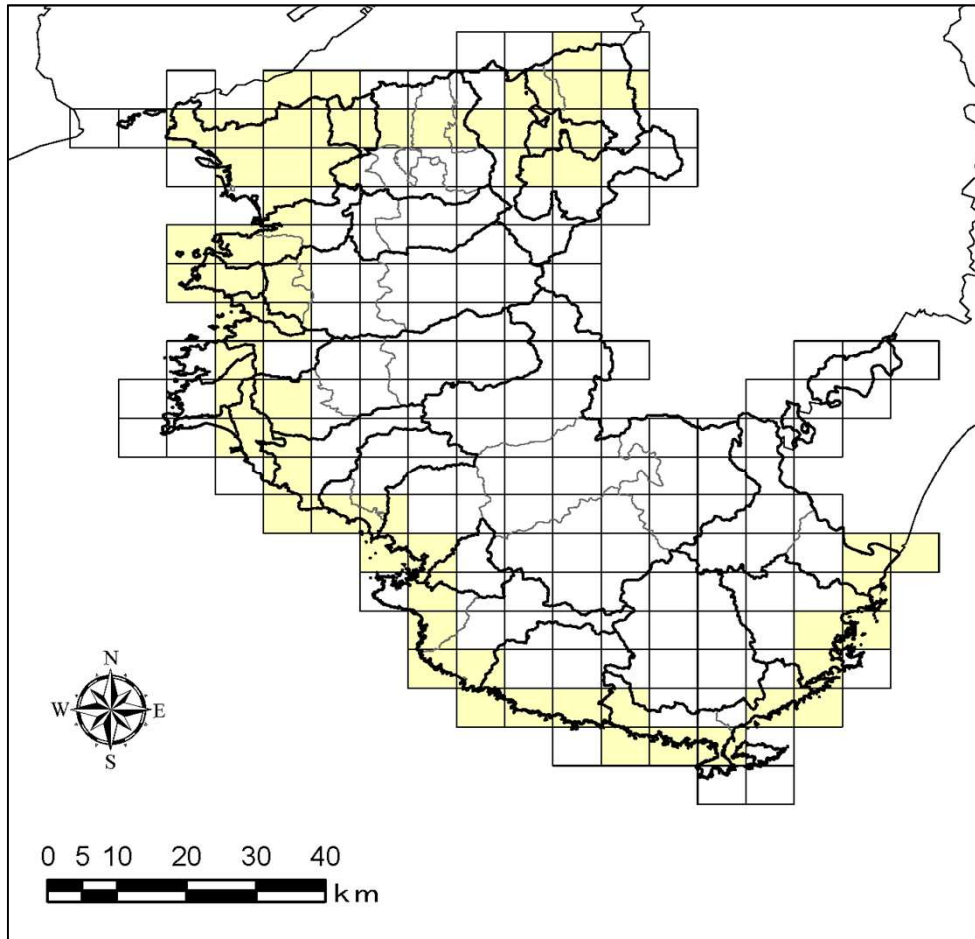
市町村道 該当格子



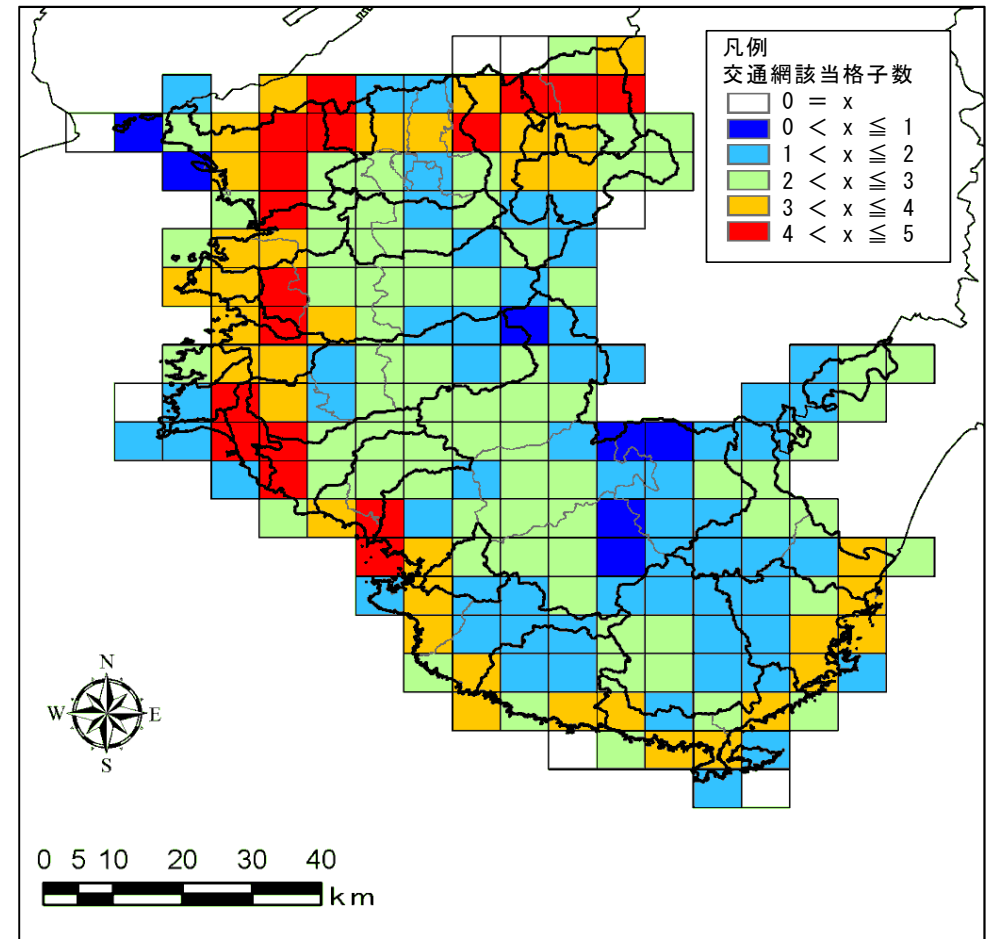
除外格子検討

(8-3) 交通網(鉄道、まとめ)

鉄道 該当格子



交通網 5項目該当格子 まとめ

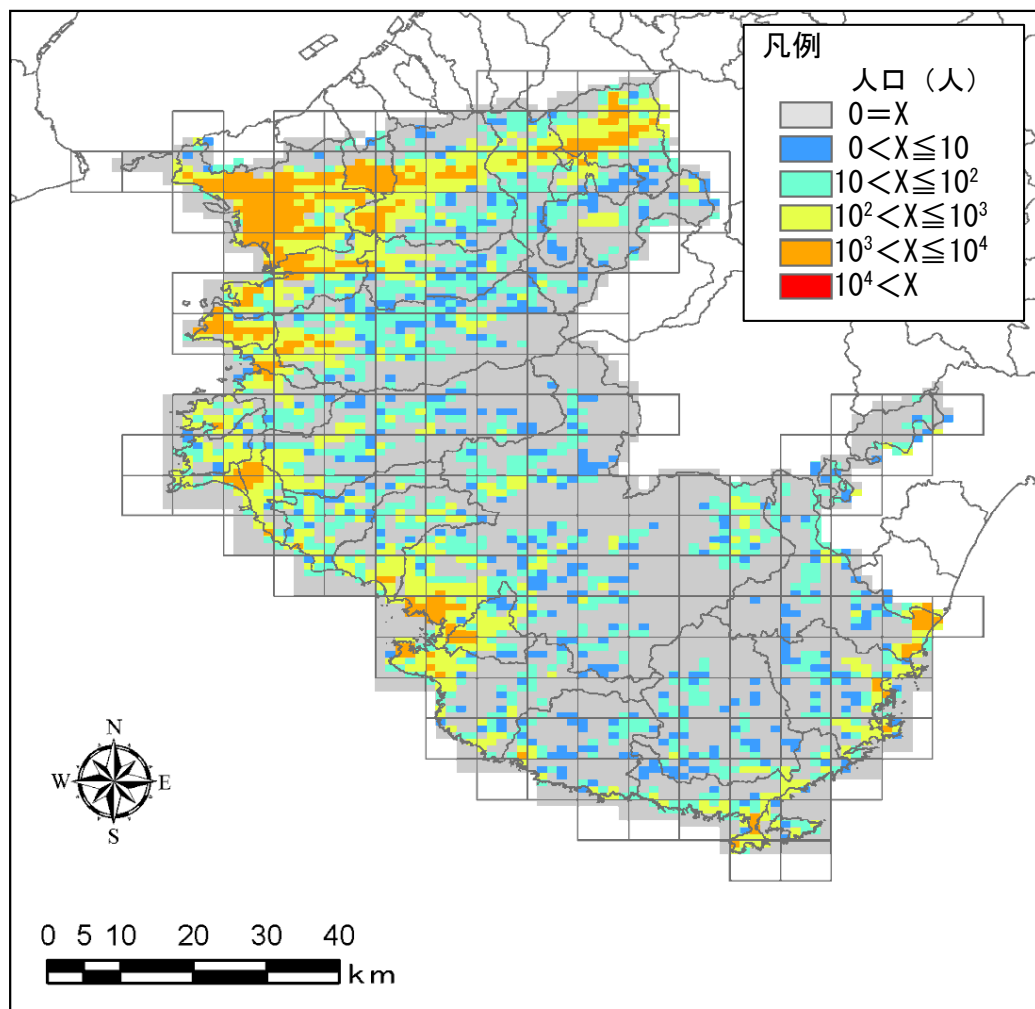


除外格子検討

(9) 人口

「政府統計の総合窓口」ホームページより、平成22年国勢調査による男女別人口総数及び世帯総数の1kmメッシュ情報を収集し、5km格子に換算した。

人口分布図(1kmメッシュ)



人口分布図(5kmメッシュ)

